



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月12日

上場会社名 ケル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6919 URL <https://www.kel.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 春日 明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 牧田 直規 TEL 042-374-5810
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月5日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	12,857	8.3	284	△52.3	384	△34.3	210	△47.6
2025年3月期	11,871	△2.9	596	△45.5	585	△53.8	401	△52.9

(注) 包括利益 2026年3月期 655百万円 (41.5%) 2025年3月期 463百万円 (△57.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	28.92	—	1.4	2.0	2.2
2025年3月期	55.23	—	2.6	3.1	5.0

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 -百万円 2025年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	18,964	15,304	80.7	2,103.56
2025年3月期	18,605	15,224	81.8	2,093.88

(参考) 自己資本 2026年3月期 15,304百万円 2025年3月期 15,224百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	1,446	△1,376	△590	4,729
2025年3月期	1,156	△1,074	△641	5,070

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00	581	144.8	3.8
2026年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00	582	276.6	3.8
2027年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00		484.6	

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,800	11.7	80	△48.9	100	△51.1	50	△62.9	6.88
通期	13,600	5.8	230	△19.3	250	△35.0	120	△43.0	16.51

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 開陸连接器(珠海)有限公司、除外 1社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2026年3月期	7,743,000株	2025年3月期	7,743,000株
2026年3月期	467,662株	2025年3月期	472,057株
2026年3月期	7,273,954株	2025年3月期	7,269,557株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	11,114	3.3	57	△88.3	233	△66.3	181	△64.9
2025年3月期	10,759	△5.3	493	△47.9	691	△50.1	518	△47.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	25.01	—
2025年3月期	71.33	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	17,217	13,953	81.0	1,917.91
2025年3月期	17,279	14,074	81.5	1,935.72

(参考) 自己資本 2026年3月期 13,953百万円 2025年3月期 14,074百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、当該業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	15
役員の異動	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、通商政策を巡る不透明感や地政学的リスクの影響が引き続き懸念される中で、地域によって経済回復のペースにばらつきが見られ、全体としては不確実性の高い状況で推移いたしました。こうした中、わが国経済は、米国の通商政策の影響等が一部に見られ、先行きには不透明感が残るものの、設備投資につきましては高水準の企業収益を背景に底堅く推移し、全体としては緩やかな回復基調が見られました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界では、生成AIやデータセンター関連需要を背景として、工業機器向けを中心に底堅い需要が見られました。一方で、車載機器向けにおいては、一部地域で在庫調整の影響が継続したほか、民生機器向けでは需要の回復に時間を要する状況となりました。

このような事業環境のもと、当社グループは、2030年を目標とする「KEL VISION 2030」（長期経営計画）および中期経営計画（2026年3月期～2028年3月期）を策定し、目標達成に向けた施策を開始いたしました。

「KEL VISION 2030」では、世界での認知度向上および海外ビジネスの強化・拡大を図るとともに、世界へ向けた魅力的な付加価値商品（新製品）を増強し、世界に貢献できる企業体制・サプライチェーンの構築を基本方針として掲げております。

また、中期経営計画においては、基本方針として、海外売上拡大に向けたグローバル体制（開発力/供給力/販売力）の強化および新製品開発、注力市場の開拓を進め、事業の拡大に取り組んでまいりました。

当社グループにおける当連結会計年度の事業概況としては、車載機器市場における電動化の進展を背景に需要拡大が継続し、工業機器市場についても在庫調整の影響が残るものの、市場環境の改善に伴う受注回復が進むことを想定しておりました。実際に売上高につきましては、工業機器市場および遊技機器市場向けコネクタの受注が好調に推移し、医療機器市場および画像機器市場向けコネクタの受注も堅調に推移いたしました。一方で、車載機器市場および通信機器市場向けコネクタの受注は減少いたしました。全体としましてはコネクタの売上伸長が全体を支える形となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は128億57百万円（前連結会計年度比8.3%増加）となりました。利益面につきましては、原材料価格の高騰により売上原価が上昇したことに加え、中国工場の量産開始が当初の計画より遅延し、生産効率の改善効果が想定を下回ったことから、売上総利益率が低下いたしました。また、将来の事業拡大および競争力強化を見据えた新製品・新技術開発への研究開発投資に加え、国内における新拠点の開設や中国工場設立に伴う設備投資等により、減価償却費ならびに販売費及び一般管理費が増加したことから、営業利益2億84百万円（同52.3%減少）、経常利益3億84百万円（同34.3%減少）となりました。

さらに、当社製品の一部に品質不具合が判明したことを受け、当該製品の品質不具合に伴う補修費用および関連費用として製品不具合対策費40百万円を特別損失に計上したことから、親会社株主に帰属する当期純利益2億10百万円（同47.6%減少）となりました。なお、本不具合は一部顧客で発生したものであり、主力製品への品質・性能に与える影響は限定的であります。

品目別の業績を示すと、次のとおりであります。なお、当社グループは、単一セグメントに属するコネクタ、ラック等の製造・販売を行っているため、品目別の業績を示しております。

〈製品別の状況〉

コネクタの売上高は、車載機器向けフローティングコネクタ、通信機器向けコネクタの受注は減少したものの、工業機器向け、遊技機器向けコネクタは好調に推移し、医療機器向け極細同軸ケーブル用コネクタ、画像機器向けコネクタの受注は堅調に推移したことにより112億93百万円（前連結会計年度比11.0%増加）となりました。

ラックの売上高は、電力及び車両関連（鉄道）向けの特注ラックの受注が堅調に推移したものの、医療機器向け特注ラックの受注が減少したことにより13億76百万円（同10.1%減少）となりました。

その他の売上高は、1億86百万円（同10.8%増加）となりました。

・ 品目別受注実績

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	比較増減	
	金額	金額	金額	前期比 (%)
コネクタ	9,964	11,784	1,819	18.3
ラック	1,281	1,525	243	19.0
その他	164	178	14	8.7
計	11,410	13,488	2,077	18.2

・品目別売上実績

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	比較増減	
	金額	金額	金額	前期比 (%)
コネクタ	10,171	11,293	1,121	11.0
ラック	1,531	1,376	△ 154	△ 10.1
その他	168	186	18	10.8
計	11,871	12,857	985	8.3

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産額は、前連結会計年度末に比べ3億58百万円増加し、189億64百万円となりました。これは、現金及び預金の減少額3億50百万円があったものの、商品及び製品の増加額2億47百万円、原材料及び貯蔵品の増加額2億32百万円があったこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2億79百万円増加し、36億60百万円となりました。これは、電子記録債務の減少額67百万円があったものの、支払手形及び買掛金の増加額2億62百万円があったこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ79百万円増加し、153億4百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金の増加額2億73百万円があったこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3億41百万円減少（前連結会計年度は5億37百万円の減少）し、47億29百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動の結果得られた資金は、14億46百万円（前連結会計年度は11億56百万円の獲得）となりました。これは、法人税等の支払額1億51百万円があったものの、税金等調整前当期純利益3億57百万円の計上、減価償却費12億6百万円の計上があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動の結果使用した資金は、13億76百万円（前連結会計年度は10億74百万円の使用）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出14億73百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動の結果使用した資金は、5億90百万円（前連結会計年度は6億41百万円の使用）となりました。これは、配当金の支払額5億82百万円があったこと等によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループは、「コネクタメーカーとして、世界に貢献できる企業になる。」という経営ビジョンの実現に向け、持続的な成長と企業価値の向上を目指して事業運営を行っております。当連結会計年度の業績を踏まえるとKEL VISION 2030・現中期経営計画とは大きく乖離しており、2027年3月期をその差を埋める事業構造再構築の好機とし、2028年3月期に現中期経営計画の目標数値である売上高155億円、営業利益率15%以上を実現させるべく課題に取り組んでまいります。

優先すべき課題

当社グループが現中期経営計画期間（2028年3月期まで）に最優先で取り組む課題は営業利益率の向上です。

当社グループを取り巻く事業環境は、電子機器の高度化・高機能化に伴い、コネクタに対しても高付加価値化、短期開発、安定供給、品質信頼性の一層の向上が求められる状況が続いております。一方で、原材料価格の高騰や競争環境の激化などもあり、今までの収益モデルからの転換が必要不可欠であると認識しております。原材料価格の高騰や地政学リスクの顕在化をはじめとする経営環境の激変によりコスト構造が大きく変容し高コスト体質に陥っていることに加え、事業成長にはグローバル化・国際競争力の向上が求められております。

これらを踏まえ、当社グループが持続的成長を実現するために、重要な経営課題として以下のとおり対応を進めてまいります。

①品質管理体制および製造現場の生産性向上

当社製品の品質不具合による補修対応が一部顧客で発生した事を真摯に受け止め、部門横断で対応するプロジェクトチームを立ち上げ問題解決にあたりました。品質問題が発生した際には直ちに対応できる体制を構築いたしました。今後、万が一問題が発生した際には迅速に対応してまいります。

また、製造工程における非稼働設備や原材料のロスが、原材料価格の高騰等を背景に利益を圧迫しております。これらの課題に対応する社長直轄の専任部門「品質改革推進室」を設置し品質およびものづくりの生産性向上にスピーディに取り組み、品質管理体制・設計から量産までのプロセスを見直し、改善に取り組んでまいります。

②国内外の生産体制見直し

国内では内製化や省金化を含む製造プロセスの再構築を進め、各事業所の役割や生産品目の最適化、工程や少量品ラインを見直し、効率的かつ柔軟な生産体制の再編を進めてまいります。これらの取り組みにより、製造での原価低減を図ります。

海外（中国）については、現地生産・現地供給の戦略拠点として、生産安定化および設備稼働率を向上し、海外（中国）事業を強化してまいります。

③製品への適正な価格転嫁

原材料価格や製造コストが上昇する中、製造での原価低減に加え、製品販売における収益確保が不可欠です。当社グループでは、製品の付加価値やコスト構造を踏まえた適正な価格設定を行うとともに、顧客への丁寧な説明を通じて価格転嫁を進め、収益性を重視した営業活動を実施してまいります。

④市場・顧客基盤の拡大

工業機器市場および車載機器市場以外の市場では、売上高成長率が低い状況が続いております。また、海外市場（特に欧州・北米）においては、顧客開拓や新規案件が十分な状況ではありません。引き続き、各市場および海外でのネットワーク構築や営業活動強化を進めてまいります。

⑤的確な開発テーマの選定と開発力強化

市場ニーズの変化が加速する中、開発テーマと市場ニーズのミスマッチや付加価値が十分でない開発テーマに投資する恐れがあります。成長分野や顧客の課題を踏まえた開発テーマを選定し、高付加価値製品を生み出す開発体制を構築してまいります。また、開発人員の質・量両面での強化を図り、開発スピードの向上による機会損失の低減に取り組んでまいります。

⑥主力製品分野における競争力の再強化

当社グループの主力製品であるフローティングコネクタでは、同業他社との競争が激化しており、受注獲得の厳しさが年々増しております。さらなる差異化の工夫や継続した用途・機能の検討・追及を進め、持続的な競争優位性を確立してまいります。

⑦収益モデルおよび高コスト体質改善

原材料価格の高騰に加え、稼働率の低い生産設備や高コストな業務プロセスなどにより、収益性の改善が課題となっております。価格競争力の強化に向け、設計段階からの原価低減活動、間接業務の効率化、人時生産性の向上など、全社横断的な改善活動を推進してまいります。

今期につきましては中期経営計画の目標数値である2028年3月期売上高155億円、営業利益率15%以上の達成を目指すべく、経営課題に全社を挙げて取り組みを進めてまいります。

2027年3月期の業績予想は経営課題の取り組み効果が限定的であることが想定されるため売上高136億円（前連結会計年度比5.8%増加）、営業利益2億30百万円（同19.3%減少）、経常利益2億50百万円（同35.0%減少）、親会社株主に帰属する当期純利益1億20百万円（同43.0%減少）を見込んでおります。

当社グループは、経営環境の不確実性が高まる中においても、これら課題に迅速かつ的確に対応することで事業基盤を強化し、先に掲げた営業利益率を向上させ持続的な成長と企業価値の向上を実現してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,878,090	4,528,088
受取手形	18,676	—
売掛金	2,855,743	2,526,433
電子記録債権	1,199,936	1,211,684
有価証券	192,653	201,525
商品及び製品	810,417	1,058,213
仕掛品	82,309	107,573
原材料及び貯蔵品	1,333,809	1,566,370
その他	174,066	264,844
貸倒引当金	△3,985	△3,543
流動資産合計	11,541,717	11,461,190
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,385,848	1,345,526
機械装置及び運搬具（純額）	1,285,465	1,681,692
工具、器具及び備品（純額）	520,570	422,792
リース資産（純額）	18,361	58,949
土地	1,171,754	1,171,478
建設仮勘定	120,000	—
有形固定資産合計	4,501,999	4,680,440
無形固定資産	189,125	145,114
投資その他の資産		
投資有価証券	1,225,958	1,676,129
保険積立金	1,095,222	921,404
繰延税金資産	—	4,305
その他	51,323	75,608
投資その他の資産合計	2,372,503	2,677,447
固定資産合計	7,063,629	7,503,002
資産合計	18,605,346	18,964,192

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	751,584	1,013,725
電子記録債務	788,316	720,346
短期借入金	450,000	450,000
未払法人税等	28,254	100,144
賞与引当金	217,735	189,205
役員賞与引当金	20,000	—
リース債務	—	6,304
その他	620,399	565,306
流動負債合計	2,876,290	3,045,033
固定負債		
リース債務	16,002	58,213
退職給付に係る負債	433,326	433,859
繰延税金負債	52,545	109,529
その他	2,650	13,406
固定負債合計	504,524	615,009
負債合計	3,380,814	3,660,042
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,000	1,617,000
資本剰余金	1,445,304	1,448,798
利益剰余金	11,523,716	11,152,255
自己株式	△244,396	△242,125
株主資本合計	14,341,623	13,975,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	517,947	790,971
為替換算調整勘定	320,089	491,458
退職給付に係る調整累計額	44,871	45,790
その他の包括利益累計額合計	882,907	1,328,220
純資産合計	15,224,531	15,304,149
負債純資産合計	18,605,346	18,964,192

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	11,871,771	12,857,567
売上原価	8,935,697	10,057,839
売上総利益	2,936,073	2,799,728
販売費及び一般管理費	2,339,545	2,514,894
営業利益	596,527	284,833
営業外収益		
受取利息	8,163	7,750
受取配当金	46,180	58,034
為替差益	—	25,037
助成金収入	7,299	8,053
その他	3,667	8,021
営業外収益合計	65,311	106,898
営業外費用		
支払利息	3,715	6,244
支払手数料	—	849
為替差損	72,449	—
その他	97	139
営業外費用合計	76,262	7,233
経常利益	585,576	384,498
特別利益		
固定資産売却益	229	—
投資有価証券売却益	—	16,398
特別利益合計	229	16,398
特別損失		
固定資産売却損	—	467
固定資産除却損	2,803	1,296
減損損失	—	1,361
製品不具合対策費	—	40,227
特別損失合計	2,803	43,352
税金等調整前当期純利益	583,003	357,545
法人税、住民税及び事業税	206,606	213,939
法人税等調整額	△25,155	△66,784
法人税等合計	181,451	147,154
当期純利益	401,552	210,390
親会社株主に帰属する当期純利益	401,552	210,390

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	401,552	210,390
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,550	273,024
為替換算調整勘定	48,605	171,369
退職給付に係る調整額	45,755	919
その他の包括利益合計	61,810	445,313
包括利益	463,363	655,703
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	463,363	655,703
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,617,000	1,440,058	11,759,220	△246,674	14,569,603
当期変動額					
連結範囲の変動			2,575		2,575
剰余金の配当			△348,794		△348,794
剰余金の配当 (中間配当)			△290,837		△290,837
親会社株主に帰属する当期純利益			401,552		401,552
自己株式の取得					—
自己株式の処分		5,246		2,277	7,524
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	5,246	△235,503	2,277	△227,979
当期末残高	1,617,000	1,445,304	11,523,716	△244,396	14,341,623

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	550,497	271,483	△883	821,096	15,390,700
当期変動額					
連結範囲の変動					2,575
剰余金の配当					△348,794
剰余金の配当 (中間配当)					△290,837
親会社株主に帰属する当期純利益					401,552
自己株式の取得					—
自己株式の処分					7,524
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△32,550	48,605	45,755	61,810	61,810
当期変動額合計	△32,550	48,605	45,755	61,810	△166,168
当期末残高	517,947	320,089	44,871	882,907	15,224,531

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,617,000	1,445,304	11,523,716	△244,396	14,341,623
当期変動額					
剰余金の配当			△290,837		△290,837
剰余金の配当(中間配当)			△291,013		△291,013
親会社株主に帰属する当期純利益			210,390		210,390
自己株式の取得			—	△7	△7
自己株式の処分		3,494		2,277	5,772
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	3,494	△371,460	2,270	△365,695
当期末残高	1,617,000	1,448,798	11,152,255	△242,125	13,975,928

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	517,947	320,089	44,871	882,907	15,224,531
当期変動額					
剰余金の配当					△290,837
剰余金の配当(中間配当)					△291,013
親会社株主に帰属する当期純利益					210,390
自己株式の取得					△7
自己株式の処分					5,772
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	273,024	171,369	919	445,313	445,313
当期変動額合計	273,024	171,369	919	445,313	79,618
当期末残高	790,971	491,458	45,790	1,328,220	15,304,149

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	583,003	357,545
減価償却費	954,795	1,206,650
株式報酬費用	5,643	6,210
減損損失	—	1,361
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	112	△442
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20,329	△29,555
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20,000	△20,000
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△61,206	532
受取利息及び受取配当金	△54,344	△65,785
支払利息	3,715	6,244
為替差損益 (△は益)	5,813	△26,770
固定資産売却損益 (△は益)	△229	467
固定資産除却損	2,803	1,296
製品不具合対策費	—	40,227
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△16,398
売上債権の増減額 (△は増加)	△70,913	369,062
棚卸資産の増減額 (△は増加)	155,260	△475,082
仕入債務の増減額 (△は減少)	△227,211	176,346
その他の資産の増減額 (△は増加)	△4,224	△109,008
その他の負債の増減額 (△は減少)	14,750	114,462
その他	45,755	1,146
小計	1,313,192	1,538,510
利息及び配当金の受取額	54,414	65,785
利息の支払額	△3,716	△6,128
法人税等の支払額	△207,379	△151,382
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,156,510	1,446,785
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△921,583	△1,473,717
有形固定資産の売却による収入	230	756
投資有価証券の償還による収入	100,000	—
投資有価証券の売却による収入	—	26,465
関係会社株式の取得による支出	△110,579	△61,545
保険積立金の積立による支出	△108,336	△105,416
保険積立金の払戻による収入	—	279,234
その他	△33,868	△42,720
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,074,137	△1,376,944
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△7
リース債務の返済による支出	△2,598	△7,951
配当金の支払額	△638,701	△582,273
財務活動によるキャッシュ・フロー	△641,299	△590,231
現金及び現金同等物に係る換算差額	21,229	179,260
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△537,697	△341,130
現金及び現金同等物の期首残高	5,516,269	5,070,744
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	92,171	—
現金及び現金同等物の期末残高	5,070,744	4,729,614

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)及び当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

当社グループは、単一セグメントに属するコネクタ、ラック等の製造・販売を行っているため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	その他アジア	欧州	北中米	合計
6,703,272	2,245,499	1,378,842	1,258,990	285,166	11,871,771

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. その他アジアに属する地域の内訳は、台湾、韓国、タイ等であります。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
サンワテクノス株式会社	1,428,906	—————

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	その他アジア	欧州	北中米	合計
7,584,141	2,608,058	1,353,078	1,026,444	285,844	12,857,567

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
2. その他アジアに属する地域の内訳は、台湾、韓国、タイ等であります。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	中国	その他	合計
3,821,359	831,330	27,749	4,680,440

(注) その他の内訳は、台湾、欧州であります。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
サンワテクノス株式会社	1,775,913	—————

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）及び当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

当社グループは、単一セグメントのため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）及び当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）及び当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	2,093円88銭	2,103円56銭
1株当たり当期純利益	55円23銭	28円92銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額 (千円)	15,224,531	15,304,149
普通株式に係る純資産額(千円)	15,224,531	15,304,149
普通株式の発行済株式数(株)	7,743,000	7,743,000
普通株式の自己株式数(株)	472,057	467,662
1株当たり純資産額の算定に用いられた普 通株式の数(株)	7,270,943	7,275,338

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	401,552	210,390
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	401,552	210,390
普通株式の期中平均株式数(株)	7,269,557	7,273,954

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の異動(2026年6月26日付)

役員の異動につきましては、本日公表の「取締役候補者の選任に関するお知らせ」をご参照ください。